



114
A2370



天正十一年四月
大隈侯爵郵寄

所謂改正ノ方法トハ地ノ輸入税ヲ増カシテ以テ
輸出税ヲ齊スルノ件況行税別ニ改正ヲ要スルノ
件海關ニ於テ借庫ノ増築ヲ要望スルノ件亦本位
管帶ヲ以テ関税ト定ムル等ノ件即是ナリ此レ等
ノ改正方法ノ如キハ幕末京大坂ノ幕府議所ニ於テ
既ニ已ニ之ヲ論辨シ了ラレテ建之弼ス所ナレ且
幕府議所ノ考案モ素ヨリ目主ノ意ニシテ大抵其
精神ヲ回ラヌルヲ以テ今又之ヲ喋々スルモ閣上
ノ意ヌルニ違ハズ是ヲ以テ改正ヲ要スルノ事ハ

趣旨方法共与ナカテ与會協定ノ議ニ譲リ更ニ一
歩ヲ進メテ改正ヲ希望スルノ精神ト波ノ如ク人カ
之強ク利己主義ノ見ヲ破ラントス

夫レキ現行條約ヲ改正スヘキノ以テ既ニ前條ノ如
ク其改正方法ヲ亦東京大坂与會協定ノ議ニ基
クセルヲ以テ優等利己主義ノ外國人モ其以テ遂ト公
利ノ善所ハ中心地ニテ之ヲ知悉セシナルヘシ然
而ノ英國ノ便ノ如ク若ハタル回國高麗等ノ横
濱高松等處所迄ニ兵庫大坂聯合高松等處
所ノ意見ヲ開クニ其眼目ハ云ク輸入税増加ハ

日本貿易ニ害アリ云ク輸出税停止ハ外人ニ利
スル所ナシ云ク戻税ノ制ヲ違スヘシ云ク借庫料
ヲ減少スヘシ云ク沿海貿易ノ航路ヲ外人ニ許セ
シムヘシ云ク内地旅行ヲ外人ニ許スヘシ云ク新
港ヲ開クトモ其利ヲ享ルヘシ云々ニシテ多ク
其高松等處所ノ意見ト反對ノ点ニ出テ之ヲ
要スルニ該高松等處所ノ目的トスル所ハ輸出
入税ハ現行ノ条約ヲ遵守シ更ニ其他ノ新
利益ヲ以テ改正ニ得ント知スルニ過キス即チ所
謂波シカ強慾ナル利己主義ニ負着スルモノ

ニシテ飽マテ、高条約改正ノ後ヲ拒マントスルニ
外ナラザルニ似タリ、嗚呼、吾モ亦忘レト云フヘシ
何トナレハ波ノ外國人カ會着ルル利己主義ハ却
テ貿易ヲ衰歎セシムル換己主義トナルヲ知覺
セザルハナリ

夫レ貿易ノ利タル至ニ之ヲ勿收シテ殆後ニ生
ルべき利益ヲ保護シ、旺盛ヲ致シ、無スヘキハ三民ノ章子
ヲ得テ、あるヘシ然ルニ波ノ外國人ハ尚現行条約
ヲ撤消セシメテ、其利ヲ偏有セシムルヲ歎スル者
ノ如シ、是即チ吾國ノ困難ヲ爲スモノニシテ、家

國ノ衰亡ヲ促カサシムルモノナリ、豈ニ之ヲ見テ
親睦ノ國ト視做サント歎スルモ得ヘケンヤ、却テ之
ヲ吾國ノ怨敵視せ、嗚呼、ハシノミ、抑別ニ吾國民
ハ仇讐ニ向テ、先厲詞ヲ洩サレカ爲メ、敢テ之ヲ干
戈ニ許ヘ到底改正ヲ要求スルニ至ルヘキカ、吾決
シテ然ラサルナリ、夫レ兵ハ凶器、遽ニ動カス可ラザ
ルモノニシテ、第一之ヲ用ユルトキハ、先づ損害タレ
貿易ノ平均ノ主義ニキヨリ、是等主義ニキモナリ
テ、吾國民ハ決シテ之ヲ望マサルヘシ、只吾國民
ハ皆先奮闘ヲ思念シ、團結シ、之ヲ貿易上ニ象

商シテ後我々之仇讐ヲ得ツノ一策アルノミ即
波ノ改正ヲ拒ミシ外國人ニ向テハ吾國人民タル
モノハ故テ一人モ波國ヨリ輸入ノ物品ハ需用セ
ザルナリ而シテ亦吾法守衛所ノ如キ貿易ニ関
スル者凡ハ断亭トシテ波ノ國人ト取引賣買ヲ
為サザル是レナリ偶令外國品ノ如クニ要
用ナル^ニ貨物即チ吾國ヨリ輸入シ來ル鉄器穀類
物類等ノ如キ必需欠ク可テサル物品ト名付
ルハ之ヲ米人其他ノ國人ヨリハ買収スルアルモ
波ノ改正ヲ拒ミシ外國人ノ手ヨリ買ハサルハ

シ何トナレハ該國人ハ即チ吾國民ヲ妨害ス
ル弊ヲ致ナレハナリ是ノ時ニ至リ即チ改正ヲ拒
ミシ外國人ハ亦何カナル如キ由テ貿易ノ利ヲ
占ム^ル故スルヤ是則利己主義ハ却テ損己ニ
義タル所以ノ理ヲ知ラザルナリ
尚一層ヲ進メ政府カ其際ニ臨テ施サザル可
サル適當ノ政策ヲ論陳シ當令衛所ノ如キ
ヲ申明ス^ル可タルヤ案如改正論點分タルニ
似たりト名付ル如シ外國人カ飽マテ利己主義
ニ墮著シテ其改正ヲ妨クルノ日ニ至テハ最モ

緊急ニシテ救モ適切ナル政策タルヲ行スルヲ
以テ大ニ貿易上ニ關係ヲ有スルモノト因テ茲
ニ具陳セリ

抑亦國内地租ノ法タル四公六民ノ比例ナリシ
ト多ク顧ニテ強新以前旧藩々ノ制ヲ觀ルニ
亦ハ七公三民ノ苛法ニ苦メラレシモノ比々皆然
リ然レニ明治政府ニ至テ先ツ之ヲ百分ノ三ニ
改正シ之ヲ改正ニ依テ凡ク其額^①ヲ減少シ
同十年再々百分ノ二爲年ニ改正シ即チ其額^②
^③餘ヲ減少セラレタリ由是觀之國家財政ハ

片日奈何改正ノ行ハレスシテ是ニ上ニ困弊ニ
陥ルノ勢ニ先々凡ク七ヶ年間内地租ノ其額即チハ
其額^④餘ヲ再課シ之全額ヲ以テ輸入品中
ニ最大ナル鉄器^⑤木綿類及砂糖石炭油等ノ
如キモノ然レ亦困ニ適宜生産スルモノニ特別ノ保
護ヲ与ヘ之を産ヲ興作シ製造地場ヲ振起シ
以テ彼ノ輸入品ノ物價ヲ壓倒シ之を輸入ヲ家
貿易市場ヨリ逐却スル蓋シ難カラス是レ其
最モ見ルキモノナリ也一時ニ方チ外國人等
力質著スル利己主義ハ果シテ何レノ邊ニ向ツ

テ至切。功用ヲ収メント欲スル乎。是則彼レノ利
以之義ハ却テ損己之義タル所以ノ理ヲ知ル
ニナリ

論者或ハ云ハシテ法ハ可ナリ然レモ現今内國ノ狀
勢察スルニ人民放テ多シナルニ非ス而シテ遷ニ加租
ノ法ヲ用ヒントス恐ラハ國家ノ側ノ害ヲ醸スア
ンヲ是レ未ク安一ヲ知テ其ニヲ知ラサルナリ夫
レ地租ニ五厘ヲ加シテ其ハ百萬(圓)餘ヲ再ヒ徴
收スルモ當之ヲ旧時ニ比スレハ人民ハ直接ニ地租
改正ニ由ル(圓)ヲ得ルノミナラス間接ニ得ル所

ハ高ニハ米納ノトコロ今ヨリニ五ニハ米納ノ便ヲ得
是ヨリ生スル利益ノ多クモ亦米多(圓)ニ及フ
ヲ知ラサルナリ況シヤ古ノ加租モ僅ニ數
年ヲ隔リテ徴收スルニ於テヤ加之再徴セシ
此ハ百萬(圓)餘ハ市ノ物産ヲ興作シ製造場
ヲ振起スルモノナリ其業ニ關係スル人民ハ勿
論其レカガメ物價ヲ低減シ是等ヨリ生スル
ノ利益ハ實ニ多クニシテ皆人民ノ所享トナ
リ也ハ百萬(圓)餘ハ陽ニ以テ徴收スル法ナ
ルモ陰ニ又之ヲ人民ニ還与スルトナリ異ナラ

ニヤソ好シ然ラスシテ前陳ノ如ク第一條物ヲ改
直スル能ハス甚真義年ヲ経過シ金銀貨ハ地
ヲ拂ツテ商務ノ成敗ハ破レト云ハ固弊ニ因
家ノ艱難主ナカウ拮据スルヲ汚ツノ外アウサ
ルノ時ニ比スレハ先済先果シテ母ヲザヤ苗
ニ人民ハ舉テ今ウキノ加租ノ政策ヲ要求シ
奮進戰力國家ノ裁權ヲ恢復シ以テ物産ヲ
興起セシメテ憤勵渴冀スヘキノ理ナリ嗚呼
波ノ横濱及多摩陣等ニ在ル外國人等ハ皆家
國ノ事情ヲ察知セサル半若シ之ヲ知ラハ別

決シテ決死正ヲ拒ミテ家國ノ如實ヲナシ合
セテ自ら之ノ利ヲ換スルノ業ヲアウサルハ明
藤ニナリ

